

カトリヤンマ

兵庫県：C

Gynacantha japonica

環境省：—

種の概要

腹長46～53mm、後翅長42～50mm程度。体色は胸部では淡緑色、腹部では黒褐色を呈しており、腹部には水色と淡緑色の斑紋を有する。平地から丘陵地の樹林沿いの水田の畦間や池沼、湿地の溜まりなどに生息するが、特に水田に多く見られる。成虫は7月～11月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州、沖縄

県内分布記録

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町、新温泉町

選定理由

| 人為性 | | 特殊生息環境 | 学術性 | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 | | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| ○ | ○ | ○ | | | |

特記事項

1980年代には無数に飛んでいたトンボであり、そのような個体群はもはや県内に存在しなくなった。新しい場所での発見は一定のペースで続いているものの、いずれも個体数は多くない。特に最近、水田で生活している個体群が消えたり激減した例が続いている。湿地の乾燥化、開発、水田の薬剤使用など、本種の存続に明るい材料はない。

保護上の留意点